

坂本・阿木地区女性懇談会 会議録

開催日時	平成22年 2月 4日（木曜日） 19時30分 ～ 21時20分
開催場所	坂本ふれあい施設 プレイルーム
出席者	市民：坂本地区 25名 阿木地区 15名
	行政：大山市長、近藤文化スポーツ部長、林坂本コミセン所長、鷹見阿木コミセン所長、林地域振興局長

■司会・進行者（坂本：●●さん 阿木：●●さん）

- ・司会進行の阿木地区の●●です。よろしくお願いします。
- ・坂本地区の●●さんに関会の挨拶をお願いします。

■開会のことば（坂本地区 ●●さん）

- ・女性懇談会は5年目を迎える。男性主流から女性の意見も取り入れられるようになった。
- ・坂本、阿木地区から選出された代表の40名が出席、今年度は合同で有意義な会としたい。

■市長あいさつ及び市政報告

- ・合併後10年は国からの支援があるが5年が過ぎ後半戦となってきた。各々の地域から新しい中津川市として考える時期であり、お互いの地域を知る必要性がある意味で合同の開催です。
 - ・今後の施策は①経済対策、②人口減少の歯止め（住宅施策、産業振興、子育て支援、教育、医療、交通弱者の足の確保、情報化）の7点に重点をおく。③環境にやさしいライフスタイルへの変換（自然エネルギーの活用、ゴミの減量化、森林整備）④ミックス事業、図書館建設と読書活動推進、広域のまちづくりに取り組んでいく。
 - ・新図書館の建設について文化スポーツ部長より説明
読書による人づくりを推進するため図書館建設を行う。
市域全体による図書館ネットワークの充実、蔵書の充実、読書サークル活動の支援などの活動の拠点として進めていく。その為市民参加で充実した図書館建設にむけて「新図書館建設市民協議会」を立ち上げ会議を開催している。
- ープロジェクトによる紹介ー

■市参加者自己紹介

■昨年までの女性懇談会の進捗状況報告（配布資料をもって報告）

■各地域トピックス報告（配布資料をもって報告）

■懇談内容（司会：●●さん）

- ・女性の立場、母の立場で積極的に活動している女性からの意見をお願いします。
- ・フリートークということで、特にテーマを決めていません。坂本、阿木の順で交互に意見をいただきます。

■ 懇談内容（司会：●●さん（坂本地区）、●●さん（阿木地区））

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
事前意見 （坂本地区）	以前から質問項目などの調整を何度かしてきたが、その意見を1時間の短時間で双方が納得のいく会議ができるのか、きちんと時間をとって聞いて頂きたい		
坂本12-1区 ●●さん	坂本地区においては学校の教室不足などの問題があるにも関わらず図書館建設が必要なのか。福祉、子育てなどに予算を使うべきである。	市長	福祉、子育てに対しても、それぞれの公約を掲げ対応している。全体的なバランスの中で市民の方に幸福を感じて頂けるよう進めていく。まちづくりを行う上で、図書館においては読書の役割があり必要性があると考え建設を進めていきたい。
坂本16区 ●●さん	地区の中で図書館建設の必要性を感じる人は少ない。駅前のにぎわいプラザを利用すればよいと思う。子どもたちの為には学校施設を充実してほしい。	文化スポーツ部長	現在の図書館は昭和54年に建設し30年が経過した。図書館スタイルはインターネット、視聴覚資料、読み聞かせ、子どもの広場など子どもから高齢者までの利用、ビジネス支援として一般成人が仕事の知識を得る場など滞在型へと変化してきている。その点現在の図書館では充実させておらずサービスに欠けている。今、国の補助が受けられ、ひたむきに図書館を利用される方々の要望をかなえるチャンスと考える。にぎわいプラザ利用の件は店舗用に設計された床の構造であるため改修には膨大な工事費用が必要になるが工事には国からの補助がないので図書館としては使えない。
坂本6区 ●●さん	建設予定地には段差があり不向きであり、駐車場もなく利用に不便、学生が利用しやすいように駅前のにぎわいプラザが望ましいと思う。箱物ばかり建設しては維持していくにもたいへんかと思う。にぎわいプラザも地震に対しては耐えられるのか。	市長	建設予定地の段差、駐車場の問題は協議会に建築の専門家も委員となっており、しっかりと計画し取り組んでいきたい。学校図書の実質は別に取り組んでいく。にぎわいプラザの耐震化は完了している。問題になるのは床の構造である。
阿木1区 ●●さん	阿木地区の医療機関は診療所の1ヶ所しかない。今年度トイレを水洗化していただき利用する皆さんが大変喜ばれています。診療所の存続は高齢者の多い地区の強い要望であります。現在診療所は医師、職員に使いづらい状況で診療していく上で妨げに	市長	今後の施策7点の中でも医療についてもあげています。今後優先順位をつけて、医師の方とも相談しながらできることから改善していく。コミュニティバス以外にファミリーサポートの充実を図り移動の確保をしていく。

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
	なっている。振興センターに間借り状況で改善するには限界があり地域全体としては診療所の建設を強く望みます。パソコン、ネット整備、事務用品、備品など医師が診療しやすいよう早急をお願いしたい。福祉バスの利用もあるがオートバイ、電動カートを利用する方からは雨、雪よげがないので不便しているため対応をお願いします。		
阿木2区 ●●さん	現在、木曜、土曜の二日間恵那から医師が派遣されていますが日数を増やし、市民病院から医師の派遣もお願いしたい。また、新型インフルエンザは診療所ではできず困ったお年寄りの方が多くいたので配慮していただきたい。	市長	医師については市民病院自体も不足している。度々、名大に派遣の要望をしているが厳しい状況である。引き続き医師の確保に努力していく。
坂本15区 ●●さん	市民病院の医師不足に病院存続の不安がある。命の問題は重要であるので現在の状況と将来的な市の意向をお聞かせください。	市長	腎臓内科2名、研修医1名が引きあげる状況である。後任の派遣予定がなく苦慮している。透析患者の合併症を持つ重症度の高い患者の受け入れなどはセンターとなる市民病院が拠点となる。病院の機能は維持できるよう医師の派遣を名大に交渉中である。医師の確保については名大医局に要請している。恵那市との両市で働きかけを行っていく。
坂本10区 ●●さん	名大が無理なら他の病院を選定することはできないのか。地元出身の医師を優先して派遣できないのか。また、市の補助はあるのか。	市長	大学病院医局のことは非常に難しい。選定を複数交渉した病院は、その結果ももとの医局も引き上げてしまった例もあり慎重に行いたい。名大医局はこの辺では一番派遣があるので交渉していく。地元医師の優先派遣は医師不足の状況では困難である。市の補助としては奨学金制度を設けている。
坂本12-3区 ●●さん	子どもの不登校、引きこもりに対するカウンセラーまたはケースワーカーの増員をしてほしい	市長	ケースワーカーの必要性、原因となるいじめの問題については現状を確認して対処する。中津川ライオンズクラブがライオンズクエストと称し人と人との交流の仕方、コミュニケーションづくりなどを学び実践する事業があると聞いている。教育委員会としても学校に参加するよう要請している。この問題は持ち帰り検討していきたい。
阿木9区 ●●さん	防災無線の設置等の調査結果は出ていますか。関係地域だけ発信することは	市長	光ファイバーを利用することも含めて、今年度中に調査結果を出すよう進めている。

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
	できないのか。		
坂本6区 ●●さん	食生活改善を発信してください。	市長	是非、進めていきたい。
坂本16区 ●●さん	坂本小学校はマンモス校になっている。二校になるよう分けていただきたい。	市長	地元区長会からも要望を受けて認識している。過密、過疎どちらも問題を抱えている。教育委員会で「学校適正化委員会」を立ち上げ意見を頂き取りまとめをしています。将来を見通しながら検討していきます。

■市長総括

- ・図書館、診療所、病院、不登校、防災無線、食育、学校などの切実な意見を頂いた、言いつばなし、聞きつばなしにしない基本姿勢で取り組んでいきます。
- ・コミセンは身近な相談窓口である、目となり耳となりますから活用してください。
- ・総合事務所によっては人口1,000名に対し職員が10名体制で、コミセンと総合事務所の違いを公平な目で今後調整する必要がある。

(意見)

- ・今回は合同で行ったが、地域ごとの方がきめ細やかな意見がでるので、地域ごとに戻してほしい

(市長回答)

- ・会議の冒頭に説明したように新しい中津川市としてお互いの地域を知るためにも、今後も合同懇談会で進めていきたい。

■閉会のことば(阿木 ●●さん)

- ・人口密度、子どもの人数などあまりにも対照的な地域である訳ですが、お互いの地域の知る意味でも合同で開催することに必要性を感じました。
- ・公助・自助・互助という事をしっかりと把握して、いきいきと元気に活発に自分たちのまちで胸を張って暮らしていけるよう、頑張っていきたい。

■開会